

## 第115回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	売 掛 金	買 掛 金
仕 入	売 上	受 取 手 形	支 払 手 形
前 受 金	前 払 金	繰 越 商 品	手 形 売 却 損
固定資産売却損	固定資産売却益	建 物	建物減価償却累計額
未 収 入 金	未 払 金	修 繕 費	修 繕 引 当 金
法 定 福 利 費	給 料	社会保険料預り金	従 業 員 立 替 金
売 上 割 引	広 告 宣 伝 費	支 払 手 数 料	受 取 手 数 料
販 売 費	発 送 費	建 設 仮 勘 定	

1. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 当期期首に、建物（取得原価 ¥ 1,000,000、残存価額 ¥ 100,000、耐用年数 9 年、定額法により償却、間接法により記帳）の修繕を行い、代金 ¥ 300,000 は小切手を振り出して支払った。なお、このうち、¥ 200,000 は建物の耐用年数を延長する効果があると認められた。修繕引当金の残高は ¥ 80,000 であった。
4. 社会保険事務所に従業員の社会保険料 ¥ 200,000 を現金で支払った。なお、このうち半分は当社が負担し、残りの半分は従業員が負担している。従業員の負担分は、すでに給料の支払時に支給額から差し引いてある。
5. インターネット広告の代金を支払う目的で振り出す予定の小切手 ¥ 200,000 が、本日（決算日）現在、未渡しであることが判明した。なお、当社は、小切手の作成時点において当座預金勘定の貸方に記入している。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	(試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)			
2	(試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)			
3	建 物	200,000	当 座 預 金	300,000
	修 繕 引 当 金	80,000		
	修 繕 費	20,000		
4	法 定 福 利 費	100,000	現 金	200,000
	社 会 保 険 料 預 り 金	100,000		
5	当 座 預 金	200,000	未 払 金	200,000

・解説

1. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 固定資産の修繕に関する問題です。  
修繕に関する問題は、支出した費用を「収益的支出」と「資本的支出」に分けて処理しましょう。

■収益的支出：定期修繕など固定資産の諸機能を維持するための支出 → 修繕費・修繕引当金で処理

■資本的支出：耐用年数を延長させたり、その価値を高めるような支出 → 固定資産の増加として処理

本問はまず、問題文の「このうち、¥ 200,000 は建物の耐用年数を延長する効果があると認められた」から、この 200,000 円が**資本的支出**であることが分かるので、**建物の増加**として処理します。

★解答①・資本的支出

(借) 建物 200,000 / (貸) 当座預金 200,000

また、問題文の「建物の修繕を行い、代金 ¥ 300,000 は小切手を振り出して支払った」から、残りの 100,000 円 (=300,000 円 - 200,000 円) が**収益的支出**であることが分かります。

さらに、問題文の「修繕引当金の残高は ¥ 80,000 であった」から 80,000 円の修繕引当金が設定されていることが分かります。

よって、100,000 円のうち 80,000 円については**修繕引当金**を取り崩して処理し、残額の 20,000 円については**修繕費**で費用処理します。

★解答②・収益的支出

(借) 修繕引当金 80,000 / (貸) 当座預金 100,000

(借) 修 繕 費 20,000

以上、①②をまとめると解答仕訳になります。

固定資産の修繕に関する問題は、第100回の問1や第102回の問4、第110回の問1、第111回の問5、第119回の問2、第123回の問5、第124回の問1、第132回の問1、第137回の問3、第139回の問1、第139回の問4、第141回の問2、第147回の問1、第149回の問3でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 社会保険料の納付に関する問題です。

まず、問題文に「従業員の負担分は、すでに給料の支払時に支給額から差し引いてある」とあるので、当社は従業員に給料を支払った際に、従業員が負担すべき社会保険料100,000円を預かっていたことが分かります。

☆参考・従業員に給料を支払ったときの仕訳

(借) 給料 \*\*\*\*\* / (貸) 社会保険料預り金 100,000  
(貸) 現金 など \*\*\*\*\*

上記の仕訳を踏まえたうえで、今回問われている【社会保険料を納付したときの仕訳】を考えていきます。

従業員から預かっていた100,000円分については、社会保険料預り金勘定を減額させるとともに、会社が負担すべき社会保険料100,000円については、法定福利費勘定を使って費用処理します。

★解答・社会保険料を納付したときの仕訳

(借) 社会保険料預り金 100,000 / (貸) 現金 200,000  
(借) 法定福利費 100,000

社会保険料の納付に関する問題は、第106回の問3や第107回の問3、第135回の問2でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 銀行勘定調整表に関する問題です。

銀行勘定調整表は見た目がややこしいので、苦手意識を持っている方も多いようですが、ひとつひとつに分けて考えていくと意外に簡単に解くことが出来るので、根気強く取り組んでください。

ではさっそく問題を解いていきましょう。問題文に「インターネット広告の代金を支払う目的で振り出す予定の小切手 ¥200,000が、本日(決算日)現在、未渡しであることが判明」とありますが、これが未渡小切手です。

小切手を振り出し、支払いが完了したものとして処理していたが、実は先方に小切手を渡しておらず、金庫の中に小切手が眠っていたので当座預金の減少を取り消すとともに、広告宣伝費の未払いについては未払金勘定を使って処理します。

☆参考・既に切っている仕訳

(借) 広告費 200,000 / (貸) 当座預金 200,000

★解答・未渡小切手を認識する仕訳

(借) 当座預金 200,000 / (貸) 未払金 200,000

ちなみに、買掛金について未渡小切手があった場合には未払金勘定ではなく買掛金勘定になるので、間違えないように注意してください。

☆参考・既に切っている仕訳

(借) 買掛金 200,000 / (貸) 当座預金 200,000

☆参考・未渡小切手を認識する仕訳

(借) 当座預金 200,000 / (貸) 買掛金 200,000

銀行勘定調整表に関する問題は、第100回の間4や第101回の間1、第105回の間4、第111回の間2、第113回の間4、第116回の間5、第123回の間1、第125回の間3、第133回の間3でも出題されているので、あわせてご確認ください。